

2026年3月期 第3四半期決算説明資料

2026年2月5日

芝浦機械株式会社

2026年3月期 第3四半期決算概要

＜本編中の用語注釈＞

射出	： 射出成形機	（成形機セグメント）
ダイカスト	： ダイカストマシン	（成形機セグメント）
押出	： 押出成形機	（成形機セグメント）
工作	： 大型の工作機械	（工作機械セグメント）
精密	： 超精密加工機	（工作機械セグメント）
制御	： 制御機械セグメント	

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

業績サマリー（対前年同期）

Shibaura Machine

（単位：億円）

	2025年度3Q累計 (A)	2024年度3Q累計 (B)	差異 (A-B)
売上高	927	1,330	△ 403
営業利益	18	131	△ 113
利益率	2.0%	9.9%	△ 7.9pt
経常利益	28	135	△ 107
利益率	3.0%	10.2%	△ 7.2pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19	122	△ 103
利益率	2.1%	9.2%	△ 7.1pt
受注高	875	757	+118
為替レート（USD）	157 円	158 円	

※営業利益為替感応度（US\$）

1 円につき約 1 億円／年（円安は利益増加）

前年同期比 減収・減益

■ 売上高

- ・射出成形機、大型の工作機械、超精密加工機が増加も、中国における押出成形機のEV用「BSF」の減少により、全体の売上高は減少

増加セグメント：工作機械

減少セグメント：成形機（射出:増加、ダイカスト:減少、押出:減少）、制御機械

■ 営業利益・経常利益・四半期純利益

- ・売上規模減少により、営業利益・経常利益とも減益
- ・四半期純利益は売上規模減少及び前年同期に計上した固定資産（土地）売却益の反動減により減益

■ 受注高

- ・市況好調な工作機械をはじめ全セグメント増加により、全体の受注高は増加
- ・押出成形機は「BSF」フルラインを約2年ぶりに受注

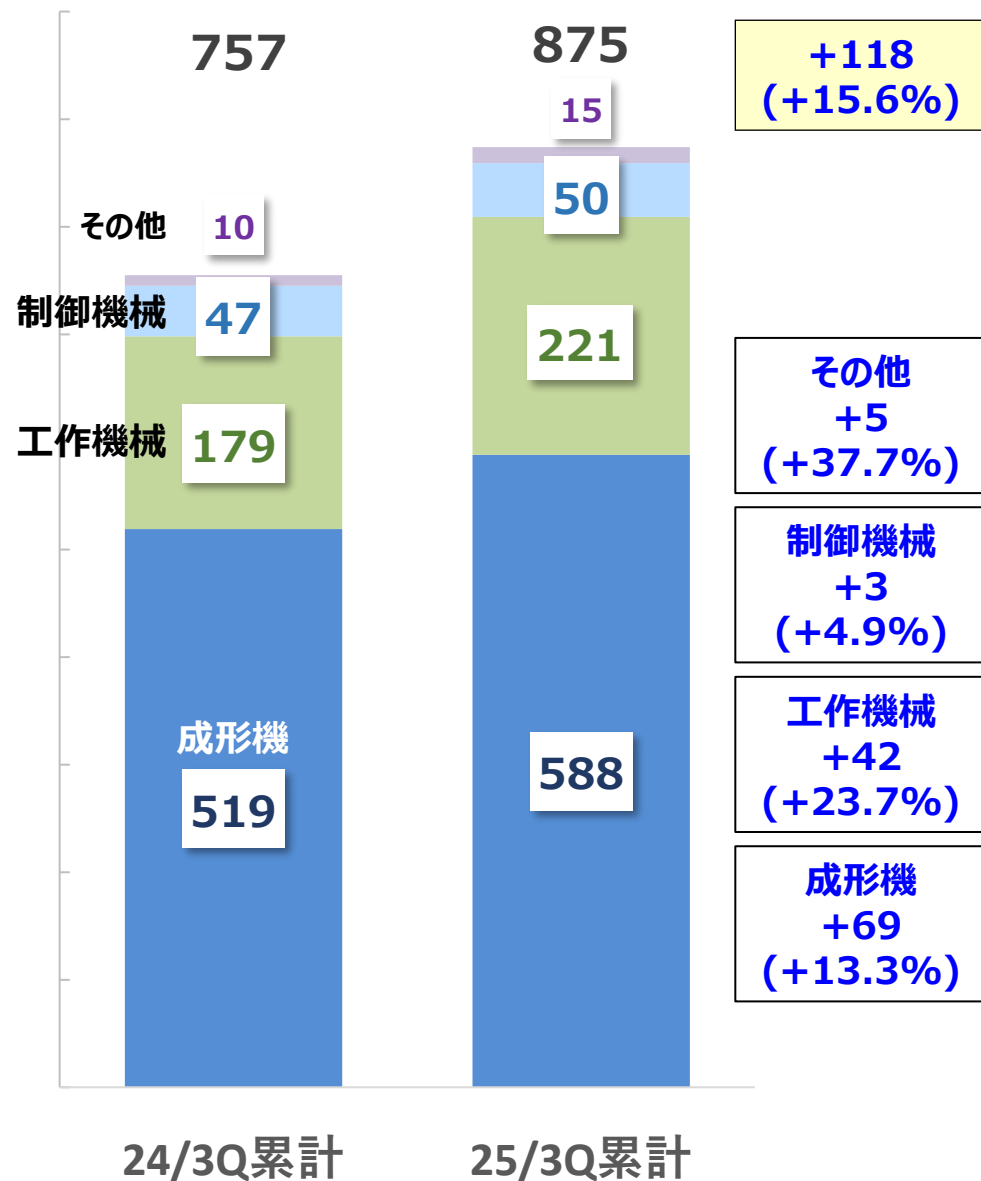
増加セグメント：成形機（射出:減少、ダイカスト:増加、押出:増加）、工作機械、制御機械

受注高（セグメント）

Shibaura Machine

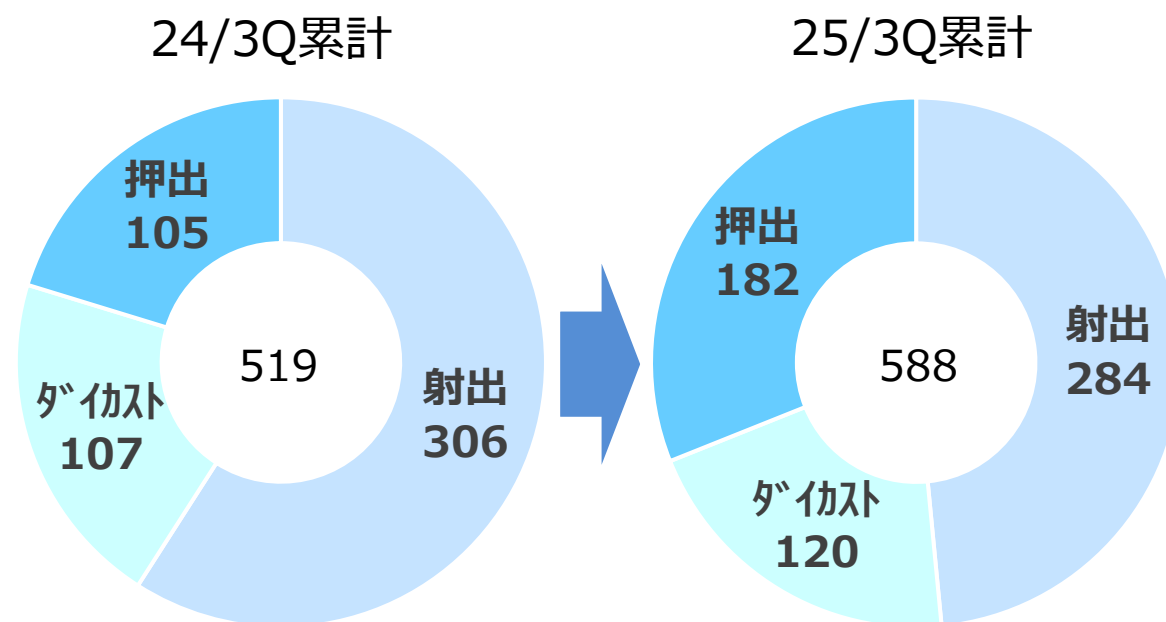
（単位：億円）

差 異



（単位：億円）

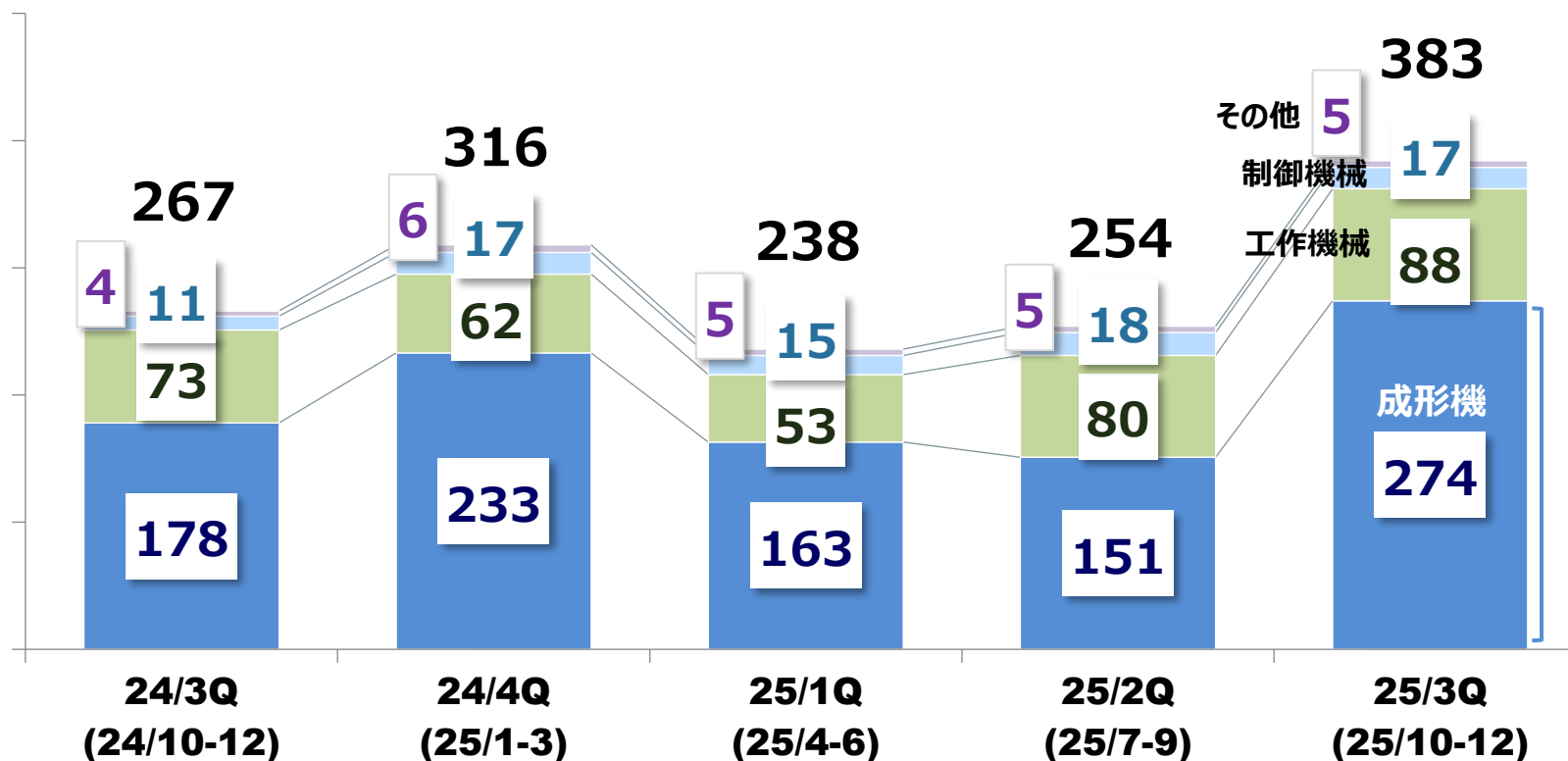
成形機内訳



受注高推移（セグメント）

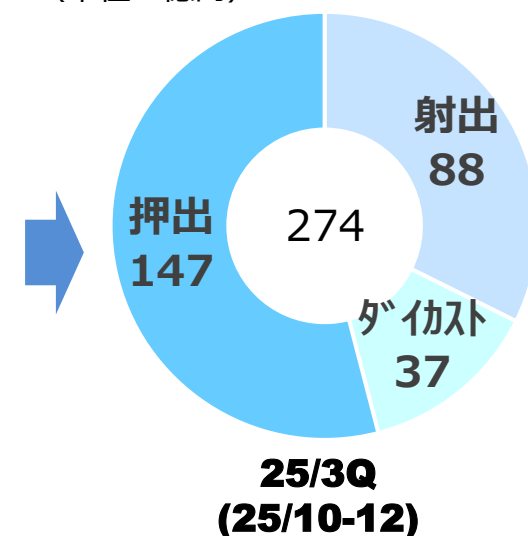
Shibaura Machine

（単位：億円）



成形機内訳

（単位：億円）



足元の受注状況

- 【射出】【ダイカスト】 米国通商政策、自動車市場停滞の影響もあり設備投資様子見が継続
- 【押出】 「BSF」フルラインを約2年ぶりに受注、EV用以外にESS※用需要も増加
- 【工作】 エネルギー、航空宇宙向け、国内における造船、防衛関連向け等需要堅調
- 【精密】 AI普及拡大による大型サーバー需要に伴う光通信向け、車載レンズ向け等需要堅調
- 【制御】 産業用ロボット低調

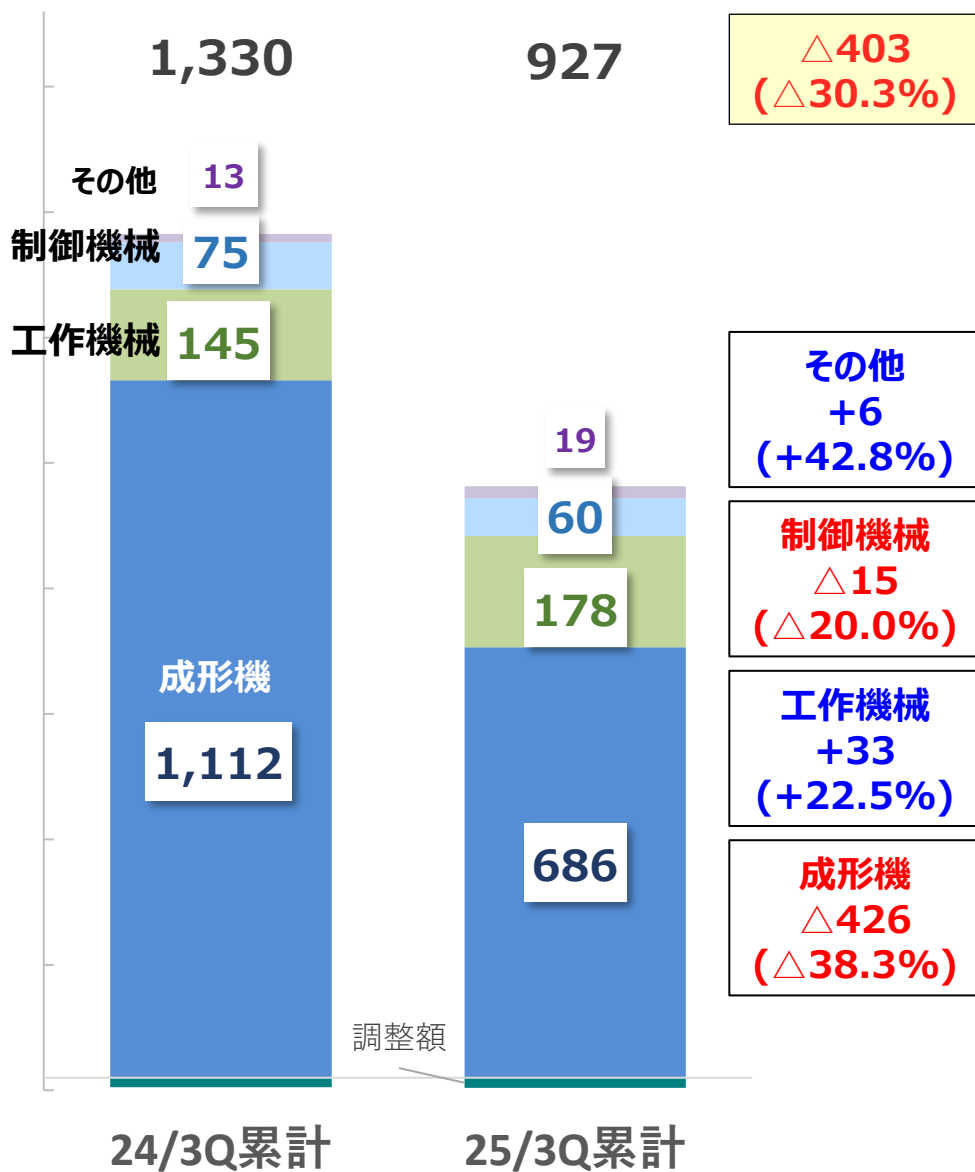
※ESS：Energy Storage System（エネルギー貯蔵システム）

売上高（セグメント）

Shibaura Machine

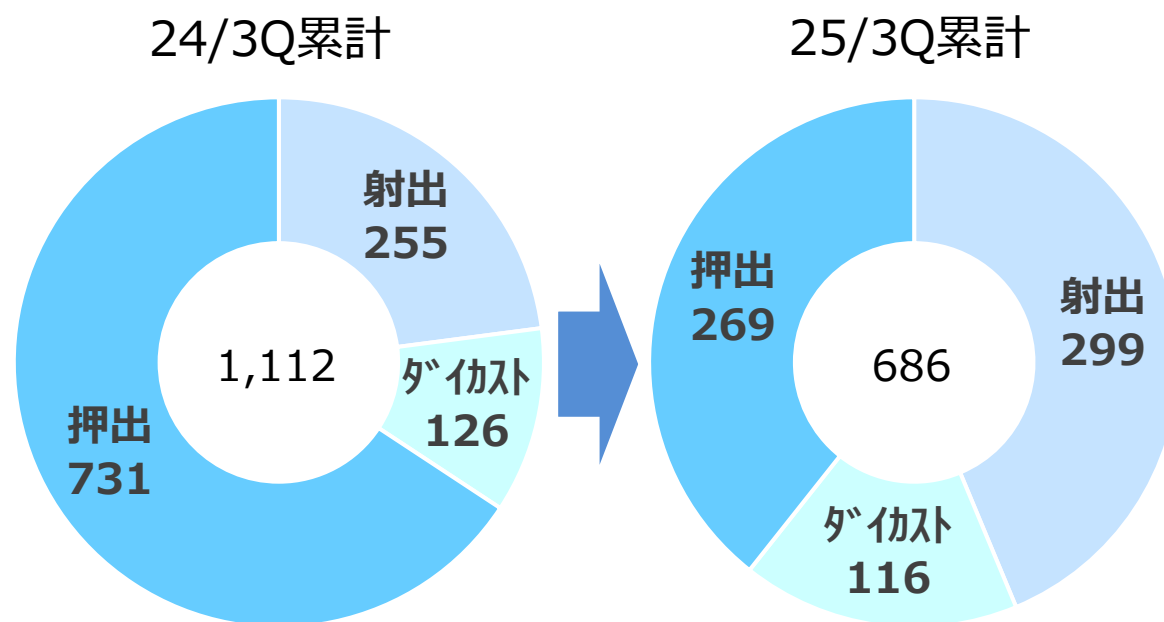
（単位：億円）

差 異



（単位：億円）

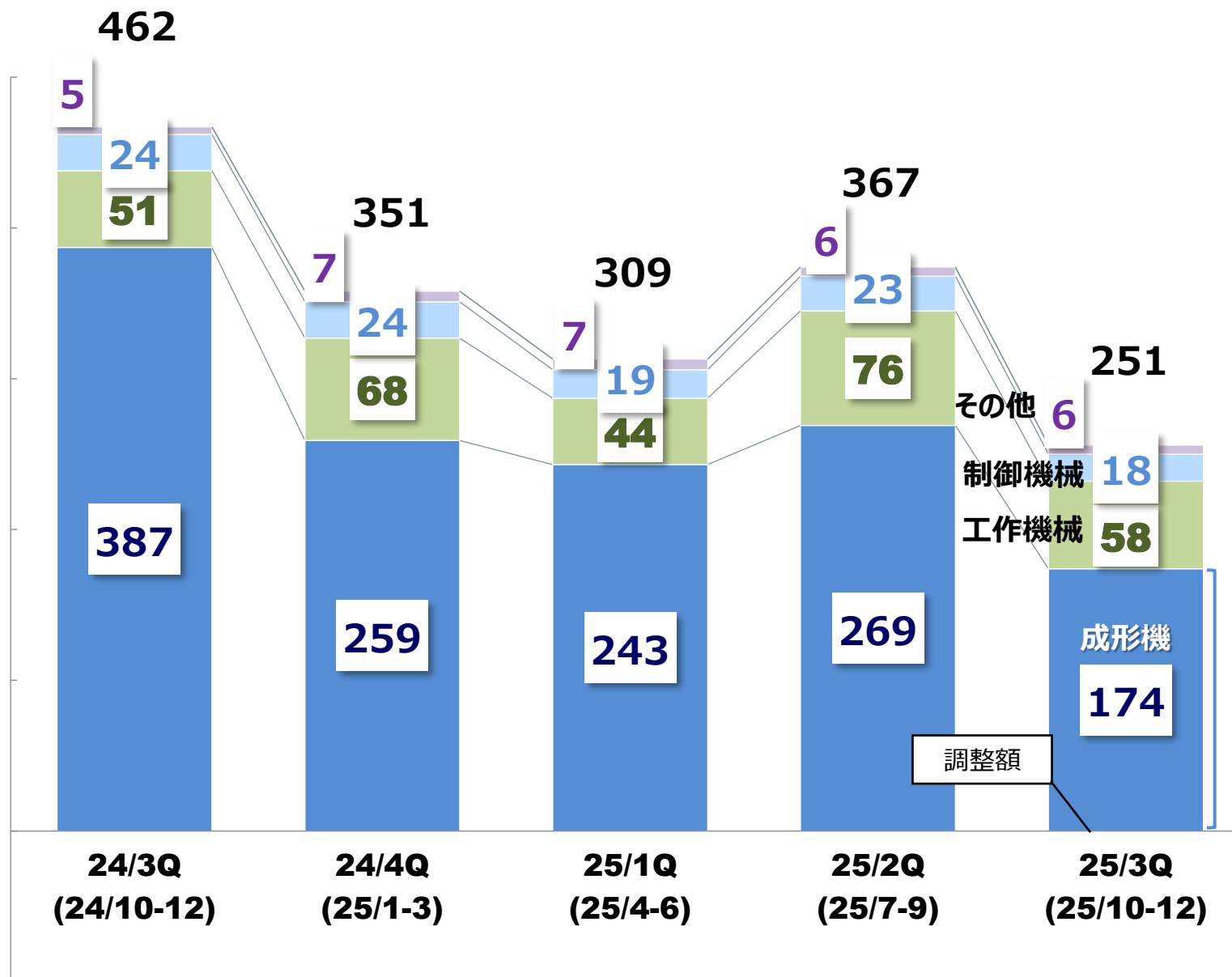
成形機内訳



売上高推移（セグメント）

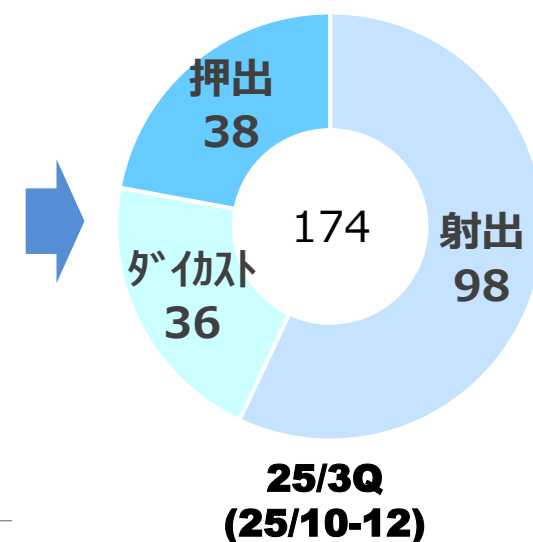
Shibaura Machine

（単位：億円）



成形機内訳

（単位：億円）

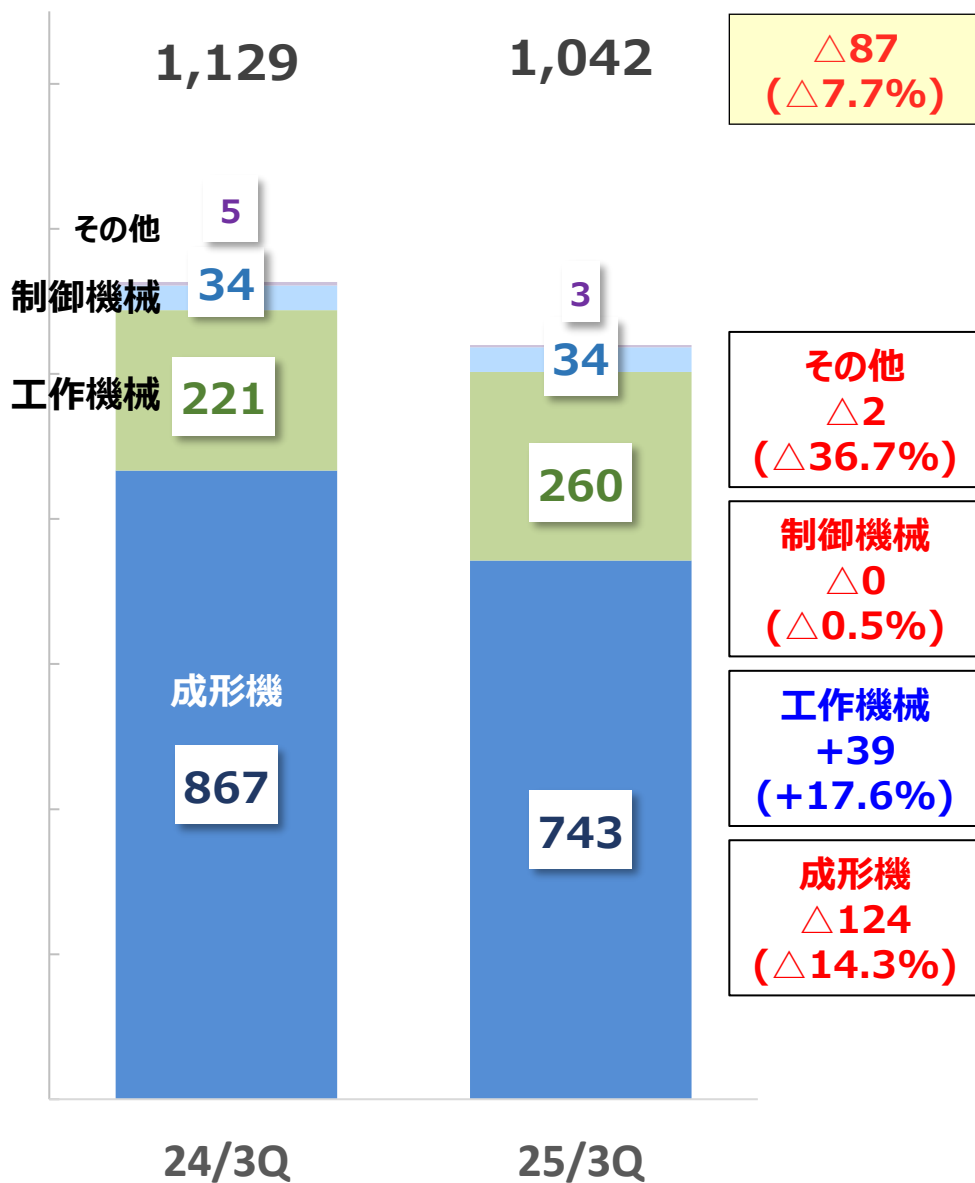


受注残高（セグメント）

Shibaura Machine

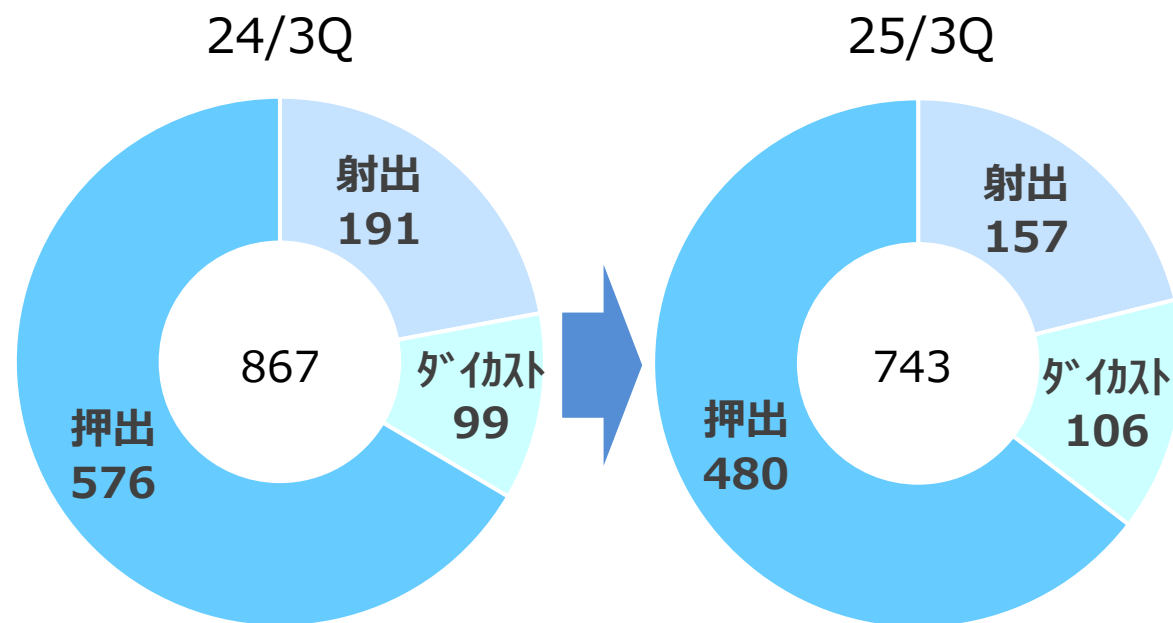
（単位：億円）

差 異



（単位：億円）

成形機内訳



営業利益（セグメント）・経常利益・四半期純利益

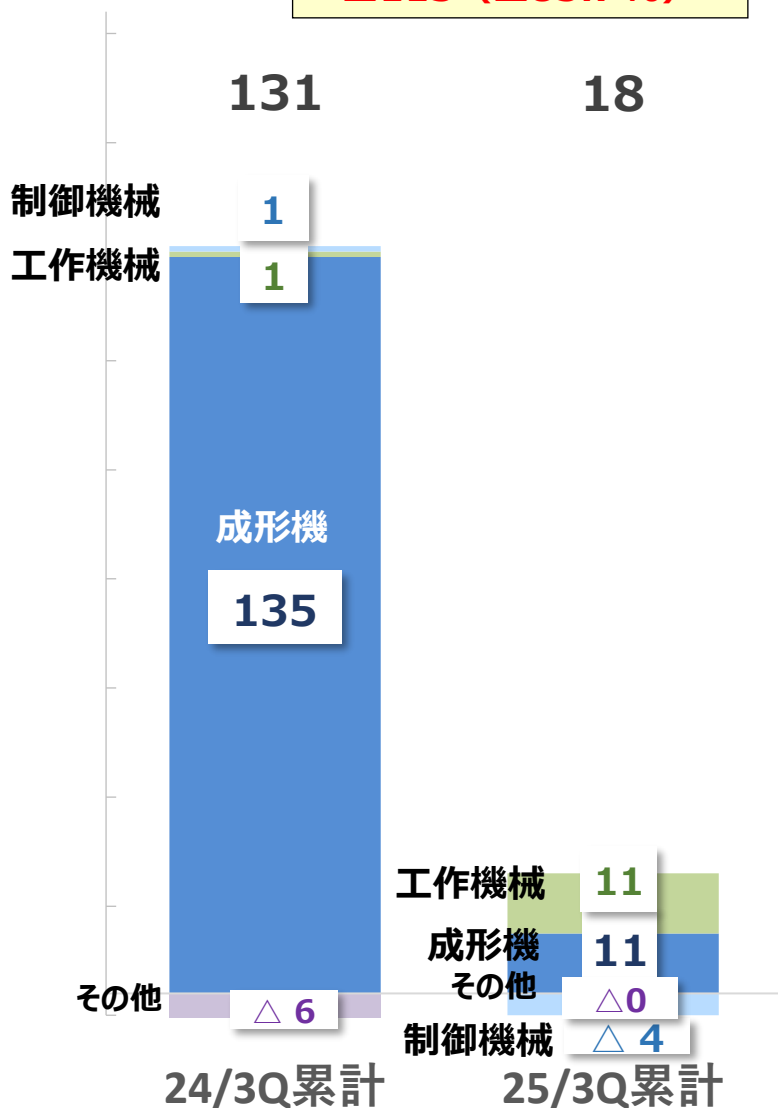
Shibaura Machine

(単位：億円)

営業利益

△113 (△85.7%)

差異



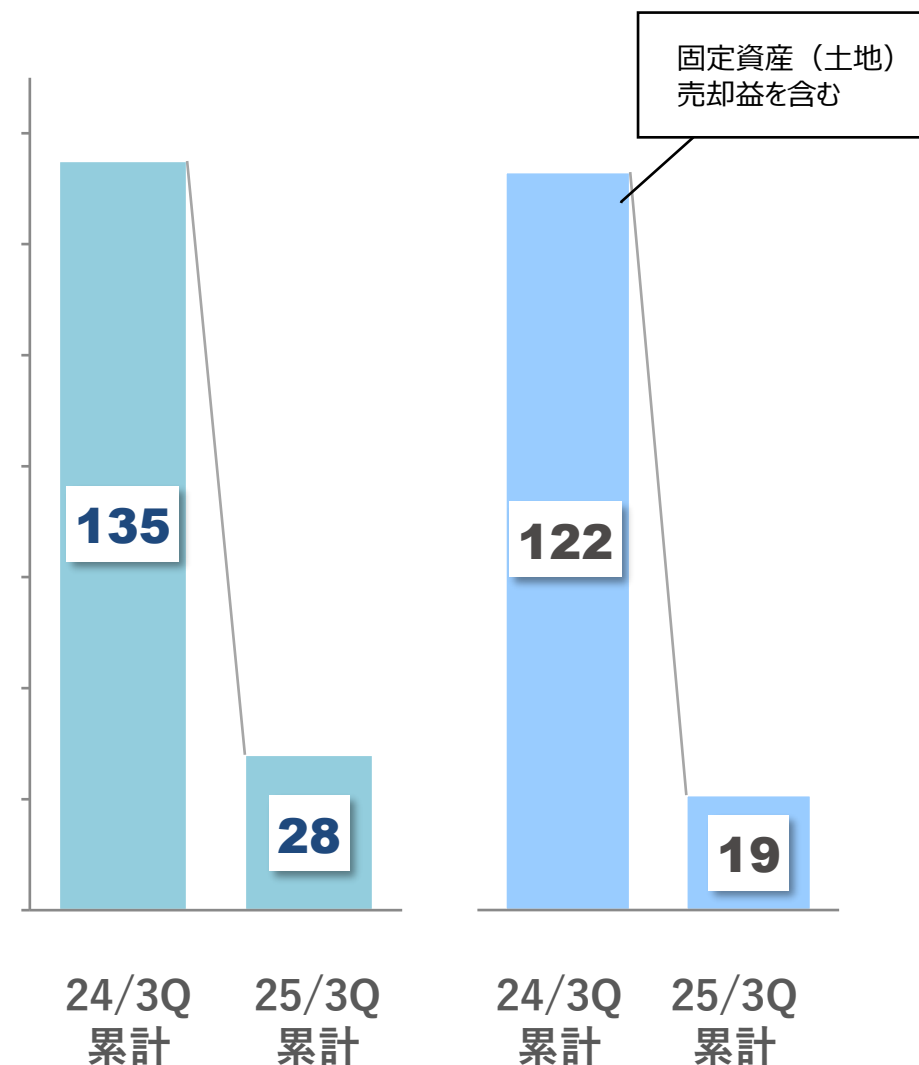
(単位：億円)

経常利益

△107 (△79.3%)

四半期純利益

△103 (△84.2%)



セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

業績要因分析

成形機	25/3Q累計 (A)	24/3Q累計 (B)	差異(A-B)	
			金額	率
売上高	686	1,112	△ 426	△ 38.3%
営業利益	11	135	△ 124	△ 91.8%
利益率	1.6%	12.2%	—	△ 10.6pt

ポジティブファクター

【射出】国内、北米、東南アジア、インド等で増加

ネガティブファクター

【ダイカスト】国内、中国における自動車向け減少

【押出】中国におけるEV用「BSF」の減少

工作機械	25/3Q累計 (A)	24/3Q累計 (B)	差異(A-B)	
			金額	率
売上高	178	145	+33	+22.5%
営業利益	11	1	+10	9.8倍
利益率	6.7%	0.8%	—	+5.9pt

ポジティブファクター

【工作】国内およびインドにおけるエネルギー向け増加、利益率の改善

【精密】AI普及拡大による大型サーバー需要に伴う中国における光通信向け増加、国内における半導体向け増加

制御機械	25/3Q累計 (A)	24/3Q累計 (B)	差異(A-B)	
			金額	率
売上高	60	75	△ 15	△ 20.0%
営業利益	△ 4	1	△ 5	—
利益率	△ 7.0%	1.5%	—	△ 8.5pt

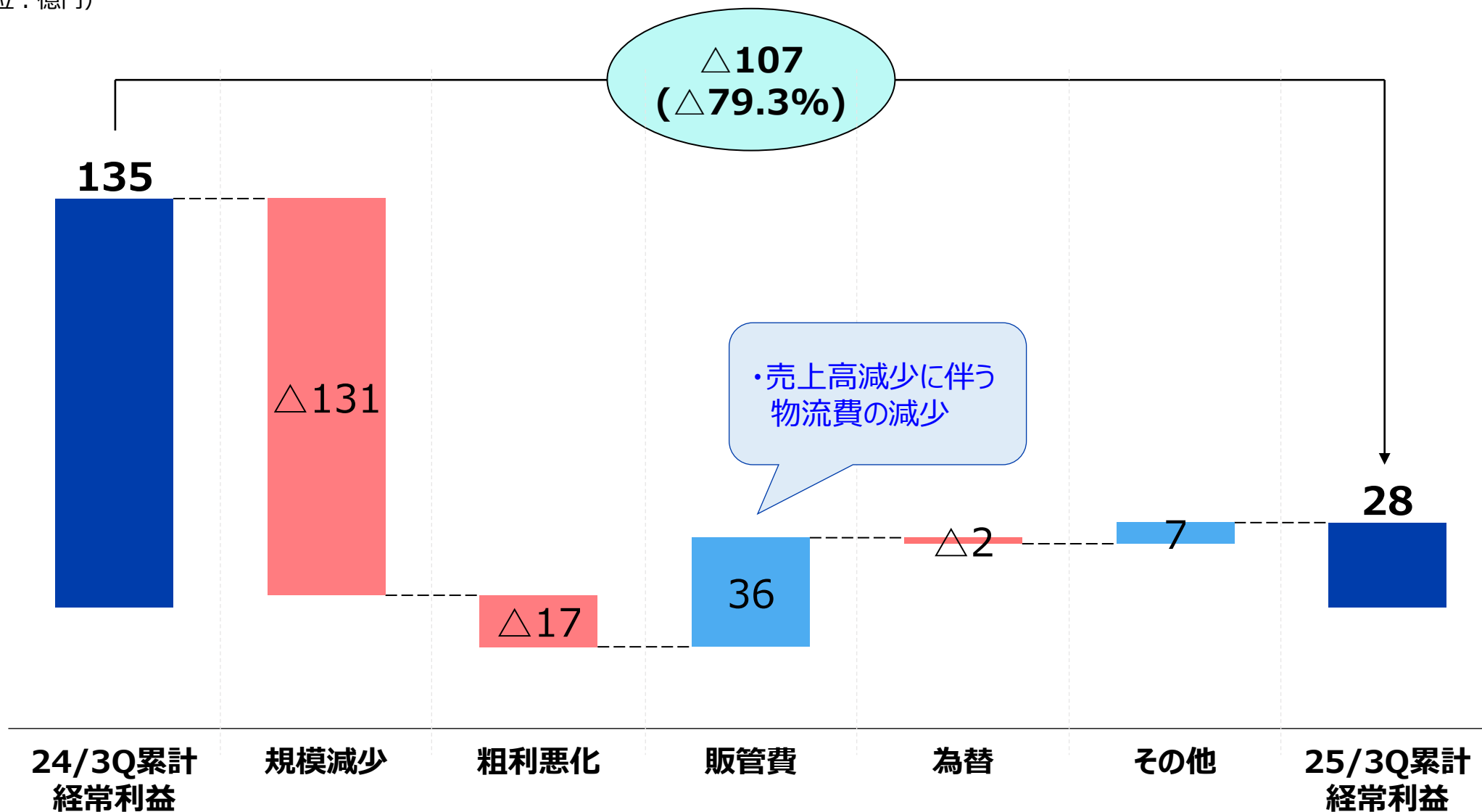
ネガティブファクター

【制御】国内における電子制御装置減少、中国におけるロボット低調

経常利益分析

Shibaura Machine

(単位：億円)



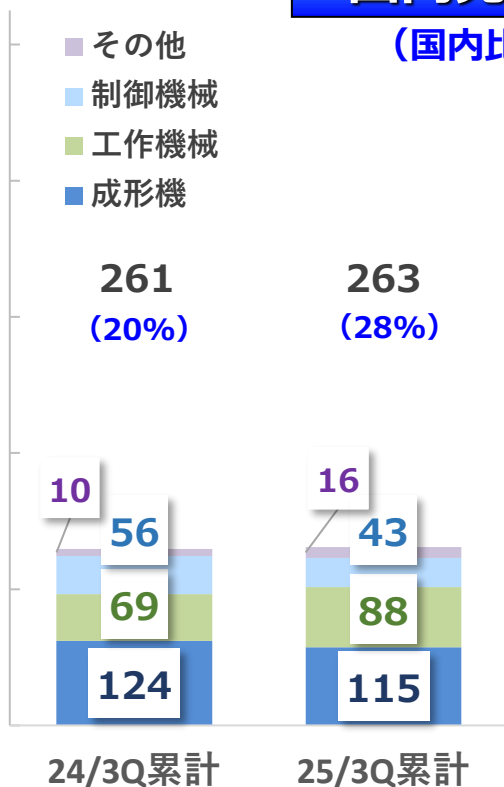
国内・海外売上高（セグメント）

Shibaura Machine

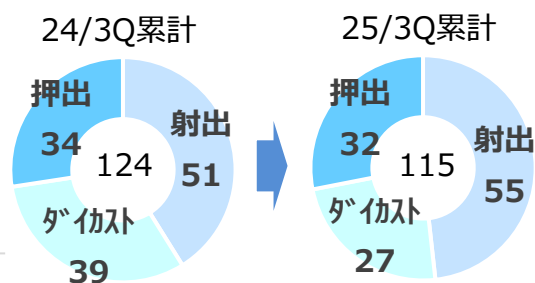
（単位：億円）

国内売上高

（国内比率）



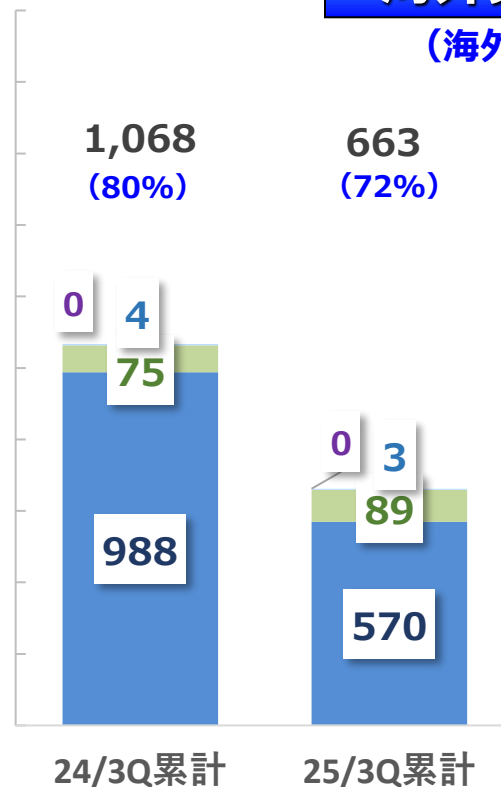
成形機内訳



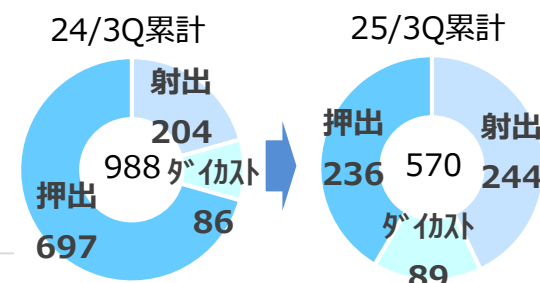
（単位：億円）

海外売上高

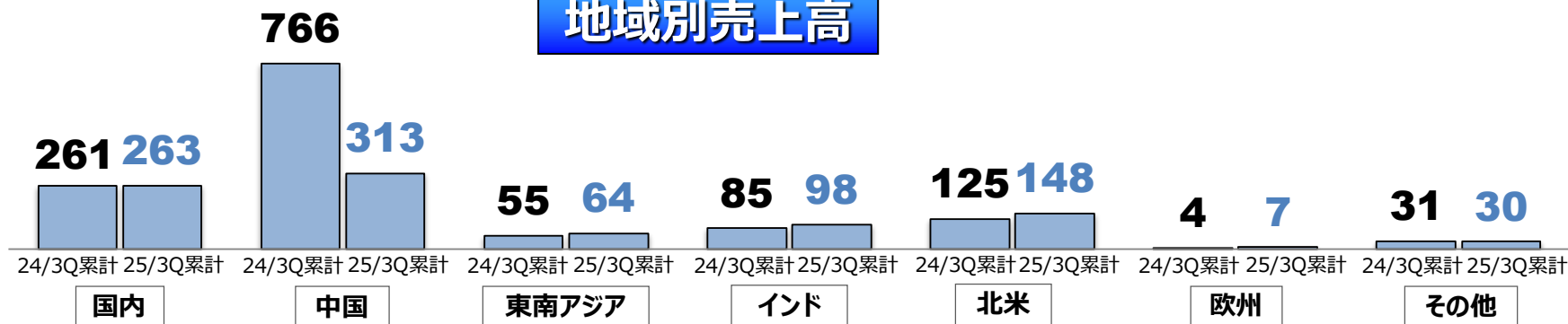
（海外比率）



成形機内訳



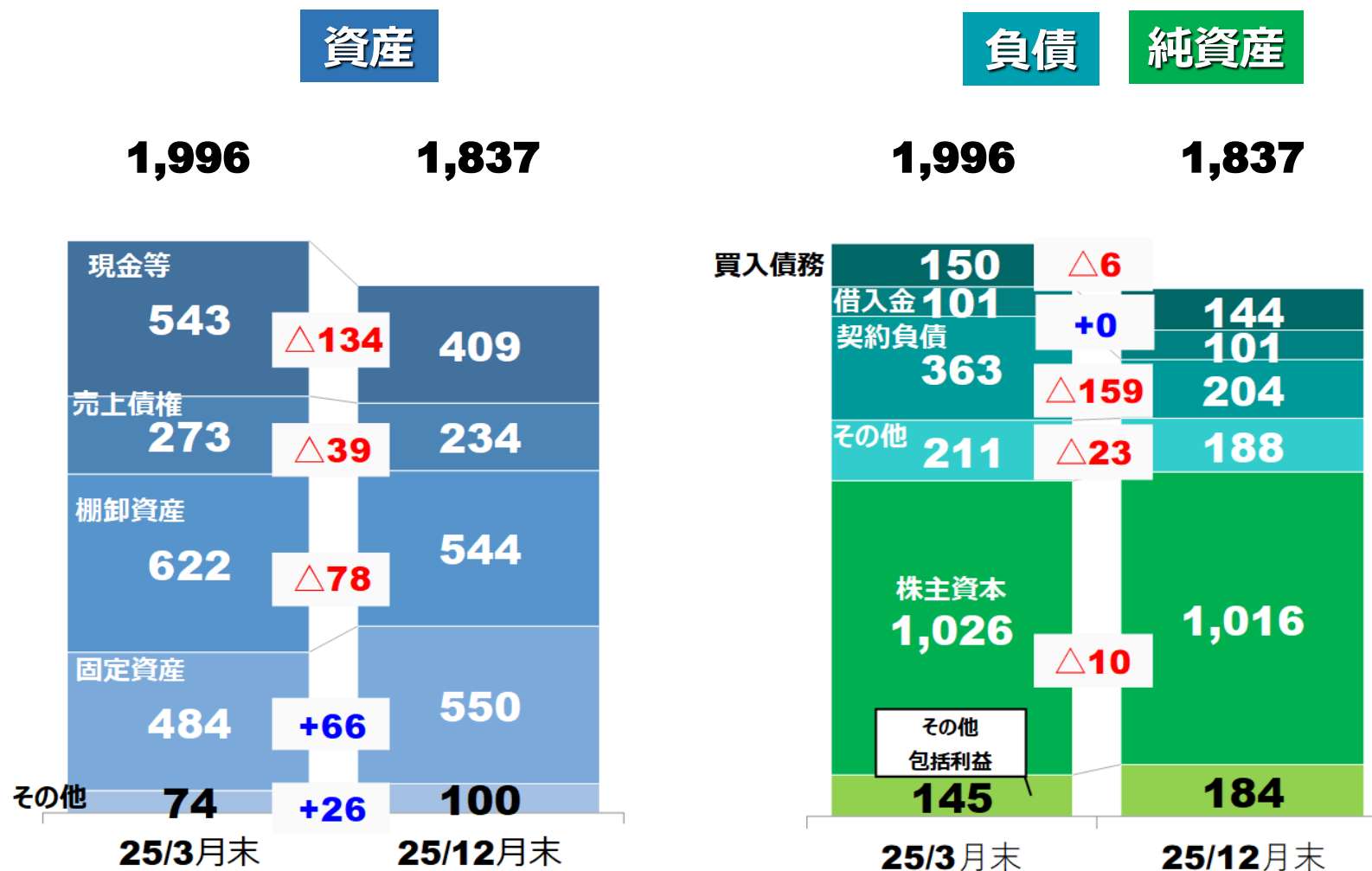
地域別売上高



貸借対照表

Shibaura Machine

(単位：億円)



	25/3月末	25/12月末
自己資本比率	58.7%	65.4%
D／E比率	8.6%	8.4%

■ 2026年3月期

業績予想

- 1) 業績予想
- 2) 研究開発費、設備投資・減価償却費
- 3) 配当予想

■ M&A実績

2025年度 業績予想

Shibaura Machine

(単位：億円)

直近に公表されている業績予想から変更ありません

	2025年度 業績予想 (2025/5/12公表) (A)	2024年度 実績 (B)	差異 (A-B)
売上高	1,400	1,681	△ 281
営業利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
経常利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	33	125	△ 92
利益率	2.4%	7.5%	△ 5.1pt
受注高	1,380	1,073	+307
為替レート (USD)	145 円	150 円	

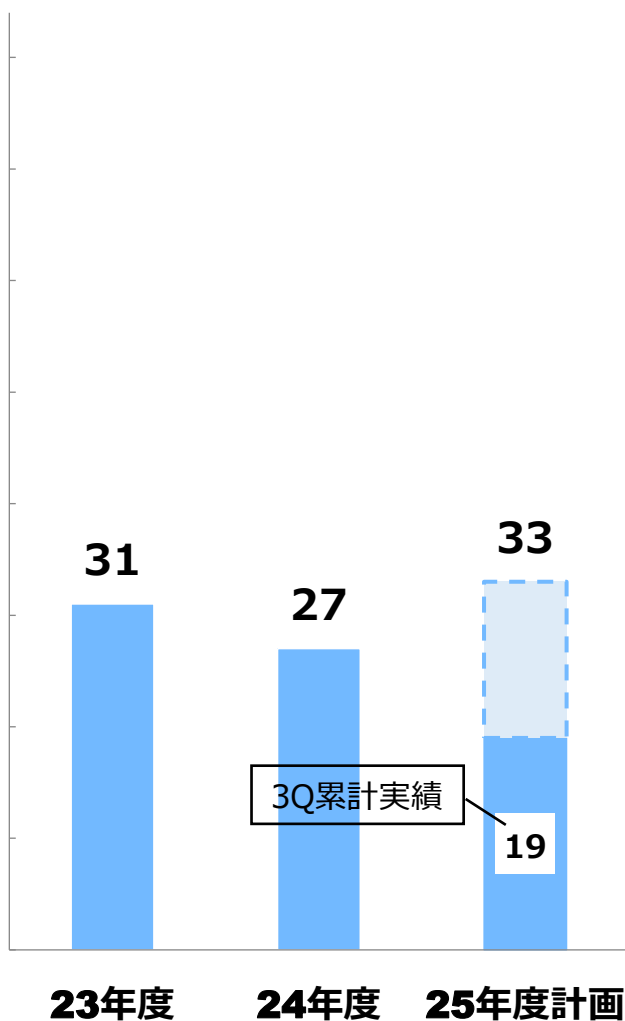
- 受注高は、下げ止まり回復基調
- 売上高の減少は、主に押出成形機のEV用「BSF」の減少による
- 営業利益、経常利益の減少は、主に売上規模減少による
- 当期純利益の減少は、売上規模減少及び前年度に計上した土地売却益の反動減による

研究開発費、設備投資・減価償却費

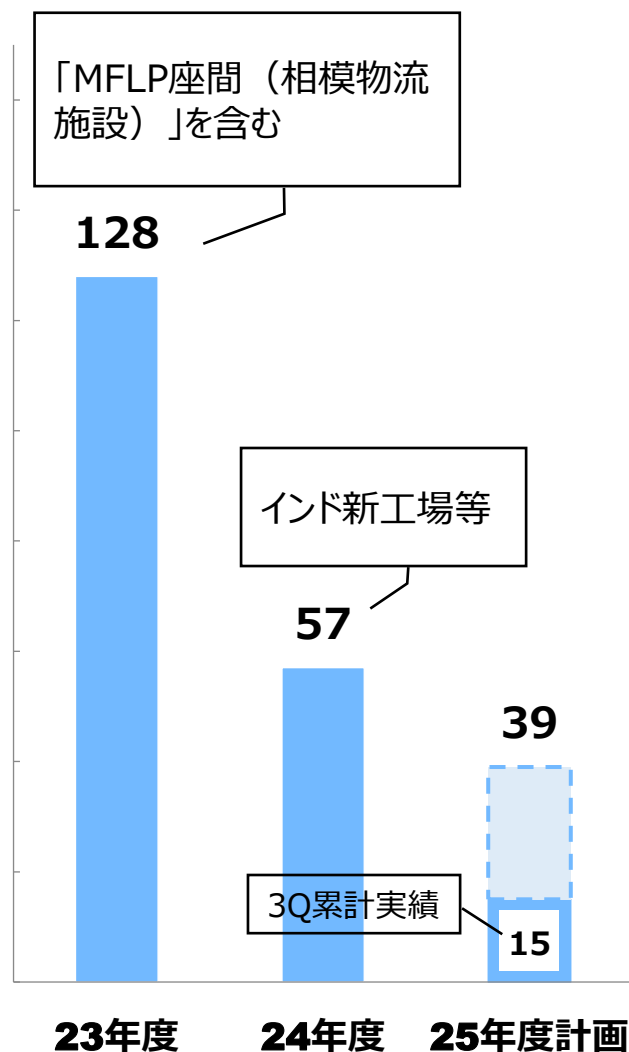
Shibaura Machine

(単位：億円)

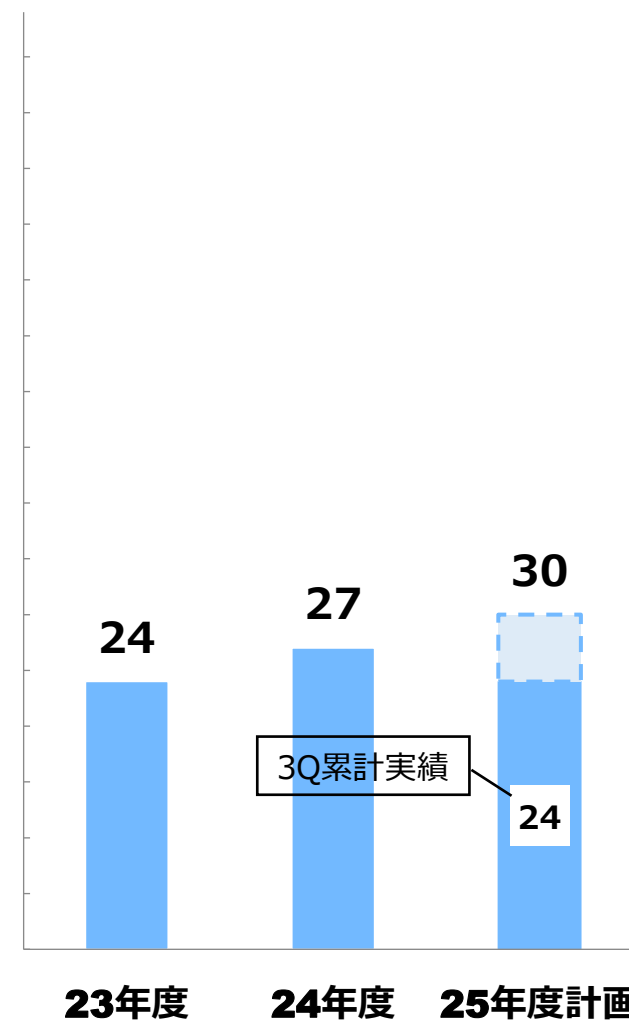
研究開発費



設備投資



減価償却費



直近に公表されている配当予想から変更ありません

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆様への適正な利益還元を実施してまいります。

	第 2 四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2024年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	※ 52.1%
2025年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	26.4%
2026年3月期 (予想)	70.0円	70.0円	140.0円	100.3%

※2024年3月期の配当性向：「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益）は、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられたことから、当期純利益から除いています。
また、2024年5月13日に公表した自己株取得を含めた総還元性向として算出しています。

【前中期経営計画中的実績】

■ テクノリンク株式会社（旧社名：ポッカマシン株式会社）（愛知）

取得目的：システムエンジニアリング事業の拡大、当社製品のシステム販売強化

事業内容：合理化、省力化システムの企画・設計・製造・販売

株式取得日：2024年3月1日

議決権所有割合：100%

【現中期経営計画中的実績】

■ 株式会社ファンクショナル・フルிட்ட（大阪）

取得目的：射出成形機・ダイカストマシンの拡販、グローバル展開、SDG s への貢献

事業内容：二次冷却システム・金型冷却装置の製造・販売等

株式取得日：2025年5月1日

議決権所有割合：100%

■ SHIBAURA MACHINE LWB GmbH（旧社名：LWB Steint GmbH）（ドイツ）

取得目的：射出成形機を中心とした欧州事業の拡大

事業内容：射出成形機を中心とする産業用機械の製造・販売

株式取得日：2025年11月28日

売上高：約4千万ユーロ

議決権所有割合：80%（3年後を目処に完全子会社化予定）

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0457 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>